

第 45 回 802 ちず楽会

日時：2025 年 4 月 6 日（日）13:00 集合

集合場所：JR 八王子駅 改札出口付近

散策コース：JR 八王子駅→甲武鉄道八王子驛跡→八王子駅近く煉瓦工場跡→明治・大正期の里道→煉瓦工場専用線痕跡→北野天満社→北野煉瓦工場跡→由井第一小学校→京王北野駅

平成 27（2015）年 3 月 1 日（日）の第 13 回で訪れた場所である。13 回の際は八王子駅南口から野猿街道を通り、煉瓦工場専用線のルート沿いに北野に向かった。

【八王子停車場跡】

現在の中央線は、甲武鉄道という私鉄として明治 22 年に新宿、八王子間が開通した。その時の八王子停車場が明治 28 年の迅速図の修正版に描かれている。その後、明治 34 年に高尾から与瀬へと線路が延長され駅も移転された。明治 39 年には鉄道国有法の施行により、甲武鉄道も国有鉄道となり名称も中央線となった。当時の八王子停車場跡周囲の道路形状は、今もこの地区の骨格として残っている。

明治 39 年の地形図には、駅だった西側に学校ができ、移転した駅と旧停車場との間に北野の煉瓦工場と同じ窯の記号が見られる。専用線の両端に当たることから、これも八王子煉瓦製造株式会社の施設だったのであろう。専用線が横浜線から分岐した大正 10 年の地形図には見られなくなっている。

【旧煉瓦工場跡】

明治 30 年に「八王子煉瓦製造株式会社」ができ、甲武鉄道の八王子驛から工場まで鉄道の引込線が敷かれていた。ここで焼かれた煉瓦は、鉄道や建物の建築資材として使用されたと思われる。甲武鉄道の八王子～上野原間は、明治 34 年に開通したが、今もこの区間に多く見られる煉瓦構造物（例えば高尾駅近くの水路や道路を跨ぐ橋、湯の花トンネル、小仏トンネル、日野駅近くの鉄橋の煉瓦など）に使用されたと思われる。

【旧煉瓦工場引込線ルート】

甲武鉄道の八王子驛から煉瓦工場まで鉄道の引込線が敷かれていた。

この引込線は、明治 39 年の地形図では甲武鉄道から分岐しているが、大正 10 年の地形図では横浜線から分岐している。煉瓦工場は、昭和 7 年の火災によって工場が全焼したことにより閉鎖されたが、引込線は戦後の地形図まで記載されていた。横浜線の分岐部近くに引込線橋脚の一部が残っている。

【明治・大正期の里道】

明治 15 年測図の迅速図から大正 10 年測図の地形図に見られる八王子駅から北野の集落を結ぶ里道がある。現在の地形図ではほとんどそのルートは辿れないが、八王子駅周辺と北野天満宮付近に痕跡が残っている。

【北野天満社】

野猿街道沿いの古い神社で、敷地には天満社と並んで鹽竈神社が合祀されている。

北野天満社は、京都の北野天満宮から分霊されたと伝えられ、「北野」の地名は、この神社の名前に由来するという。

神社の敷地裏側に由比第一小学校で発掘された市指定文化財の敷石住居跡が移設されている。

【由井第一小学校】

明治 6 年（1873 年）に天満社境内に北野学舎として 140 年以上前に創設された小学校。

現在の地には大正 6 年に移転した。旧校門は煉瓦造りで現在は校庭内に移設されている。

校門に使われた煉瓦は、近くにあった煉瓦工場で焼かれたもので、かつてこの地に大規模な煉瓦工場があったことの証としてこの小学校のシンボルにもなっている。